

'89春期シンポジウム（第31回）報告

梅村 武夫

平成元年4月6日（木）東京大学山上会館で、シンポジウム、総会、懇親会が開かれた。

I. 春期シンポジウム

春のシンポジウムは下記の課題提供がなされ、活発な質疑があった。

記

- 森田 栄一：質、量両面を考慮した収穫予想
小坂 淳一：伐期における生産目標と収穫予測
時光 博史：林分密度管理図を利用した間伐方法の検討
渡邊 彬：国有林における収穫調査と素材検知について

II. 総会

南雲会長挨拶につづき、議長に小林氏を選び、下記事項について報告および審議が行われた。

1. 1988年度

(1) 事業報告

- 1) 春のシンポジウム（東大）
- 2) 夏のシンポジウム（府立大）
- 3) 会誌14号の発行
- 4) 「NZ合同シンポジウム」論文集発行
- 5) 「世界各国の森林伐採許容量」翻訳出版
- 6) J.Kinimonth 講演会

(2) 会計報告・監査報告

2. 1989年度事業計画

- 1) 春のシンポジウム（京大）
- 2) 夏のシンポジウム（東農工大）
- 3) 会誌15号発行
- 4) システム収穫表作成
- 5) 学会会議への登録・会員勧誘（90年3月申請目標）
- 6) 1991年IUFROシンポジウム開催
- 7) 海外交流

Ⅲ. 懇談会

例年通り、シンポジウム、総会に続いて同館食堂にて懇談会をもった。

事務連絡（委員の追加）

木平運営委員長の指名により、田中和博氏（三重大）に、記録担当理事としてシンポジウム等の記録責任者となっていただくことになりました。皆様のご協力をお願いします。